



2018年 新人研修 東京・大阪

(東京5日間コース 2018/2/27~3/4 大阪3月コース 3/12~15 東京4日間土・日コース 4/14・15、21・22)

バス現場実習に「鎌倉箱根」「大阪城」が新たに加わり、さらに深く学びを得ることができました。

2018年新人研修は、少し変化が加わったプログラムでの実施でした。

東京では、新人研修自体に鎌倉箱根のバス現場実習、大阪では大阪城の現場実習が加えられました。幸い両日とも暖かく風の無い好天に恵まれ、受講生の皆様にとっては素晴らしい体験の日となりました。

入会してから3年目など以前からの会員の部分参加も目立った研修でした。また、両コースとも昨年開始したe-ラーニングコース受講生が現場実習から加わり、最後は大人気で人脈交流を深めることができたのは何よりです。

生のリアル研修、e-ラーニング研修それぞれの良さがあるのですが、e-ラーニング受講生の傾向としては、知識や情報がよく頭に入っている印象でした。やはり時間をかけて必要な部分で映像を止めて自分で調べ物をしながら進めることができるメリットは大きいかもしれません。

一方でリアル研修受講生は限られた時間で集中的に学ぶことができ、仲間作りも進められ、質問もしやすい環境でした。自分に合った方法で学ぶことができ、最後には皆が輪になって終了！今年も様々な感激と思いが交差する貴重な時間となりました。

(講師:ランデル洋子、松岡明子、島田秀夫、芹田啓子、福田誠、福井道孝、吉崎圭子、田村聡子
スタッフ:畑田利絵、黒田昌代、海老原昌之、吉田英夫、山田展之、菱田啓子、八尾眞弓 他)



さあ、これがスタートです！これから一緒に歩んで参りましょう。

WSETの資格が取れた！ SAKE (日本酒)特別研修 東京 (2/16)

アルコール飲料、特にワインについての世界的権威、イギリスのWSET (Wine Spirit Education Trust) のSAKE研修が、キャプラン(株)のご協力で実現しました。

通常は半日研修2回と試験を含めて3日必要なSAKEコースをぎゅぎゅっと押し込んで、10-17時の1日コースに仕立てました。しかも通常はStep 2以上を担当する認定講師Christopher Hughs氏による英語と流暢な日本語での講義とあって、発表後即満席の人気！

当日は多くの試飲酒が用意され、味や製法やその英語表現、よくあるQ&Aの答え方などがわかりやすく学べました。“英語の方が説明しやすいのかも”という声もあがったほどでした。少しアルコールが入った？にも拘わらず、17-18時の認定試験は、皆様よく頑張りました。

1ヶ月後には無事、全員合格の報せとSAKE講座Level 1修了書とバッジを手に入れました。おめでとうございます！“まあ！WSETのcertificateを持ってるなんて！”外国人客からの称賛の声が聞こえてきそうです。次回はワイン研修も検討されています、乞うご期待！



座学 C.C. 大阪

「日本語」1/20
「和の心・精神」2/12

「日本語」

松岡明子先生をナビゲーターに、テーマは「日本語」と、難しい掴みどころでしたが、受講者はまずは自分の名前を覚えてもらう工夫や“すみません”のような便利なフレーズ、“おおきに”の言い方の大阪・京都の違い、日本橋は東京と大阪に存在するが何故なのか、そしてその読み方も違うのにもこだわりがあるはず、、、など、緩やかに楽しくかつ意見を交換。また、単に言葉の紹介で終わらずに、ガイディングを組み立てる時のイントロや、訪問する場所に関連のある言葉を紹介する手法などを話し合うCCの2時間でした。

いずれにしても言葉を扱うガイドの仕事には日本語も基本的テーマです。継続してより興味深い話のひとつとして練り上げてゆきたいものです。(ナビゲーター:松岡明子 スタッフ:吉田英夫)

「和の心・精神」

東京に引き続き大阪で実施。日本人ガイドの日本人ガイドたる所以は、和の心を持った案内。この和の心はどのように日本社会に定着してきたのでしょうか。

参加者の主テーマ(又は掴みの部分)は稲作、17条憲法、桜、形而上学、日本の花(桜)、島国(平和)日本などでした。それぞれの発表に対してのコメントをお互いに、十二分に言い合い、有益なアドバイスが満載となりました。

最後のナビゲーターのデモでは、日本独自の稟議制度(根回し)により、decision-makingに時間がかかりすぎ、国際競争の面で不利になる事例を和の心のnegative aspectの例として話致しました。今後もより一層和の心を持ってガイド業務に邁進して頂ければ嬉しいです。(福井道孝) (ナビゲーター:福井道孝 スタッフ:吉田英夫)

「名古屋城」

名古屋は、なんと言っても、「産業・製造都市、モノづくりのまち」です。その発端は、名古屋城が築かれた江戸時代にあります。木曾櫓が大量に運ばれたことを契機に和時計、からくり人形が作られ、自動織機、車、航空産業へと発展してきました。今や世界の誰もが知るトヨタ自動車も、自動織機から始まった会社です。

名古屋城本丸御殿の復元工事は今年6月には第3期工事が終了し、完全公開となります。また、天守閣は木造復元工事のため5月7日から入場不可となります。本丸御殿の襖絵、二重折上格天井などの伝統美術・建築だけでなく、今回の研修では、ツアーでもよく訪れるスポット、トヨタ産業技術記念館を含め、日本が誇る産業技術力の高さを実感していただきました。多数ある展示物を、効率的に回り、毎日行われている各所の実演をどう利用してガイドするかをご紹介します。感動を伝えるツアー作りの一助になればと願っております。(小西明子)

(講師・レポート:小西明子 スタッフ:早瀬和美)

「丸の内・皇居」

新装なった東京駅周辺から東御苑に続くこの境界の回り方、スポットの知識を、今回は「元丸の内ガール」の講師・芹田啓子さんからたっぷりと学ぶ研修でした。Kitteビルの6階、Kitteガーデンからの景色は駅舎はもちろん丸の内境界のようすが一望できて、お奨めのビュースポットです。東京駅の実務情報(ポーター情報、観光情報の得方)も紹介いただきました。

東御苑へ移動し、時間によって、二の丸庭園のみ、天守閣も含む、富士見橋まで足を延ばす?など即活用できるガイドルートのコツ、また、城の石垣は古い順から野面積み、打込み接ぎ(うちこみはぎ)、切込み接ぎ(きりこみはぎ)、また、耐震構造の算木積み、などですが、東御苑では汐見坂や中之門跡などで確認ができること、建物は失っても、その土台を支えた石垣をひとつの材料とし江戸の知恵を語るヒントを得ることができました。現在東京駅から日本橋へのルートが昔ながらに再開発されており、目が離せないエリアの研修でした。(講師:芹田啓子 スタッフ:畑田利絵、黒田昌代)



「大阪城」

1月21日、28日の両日、大阪城スポット研修を開催いたしました。少し汗ばむような小春日和と、北風冷たい極寒という真逆の2日間、どちらの研修日も参加者の皆さんは熱心に取り組まれました。

大坂城は敷地面積が100ha以上の広大な敷地、参加者の中には実際のツアーの際、時間不足を悩んでおられる方も多くありました。

今回実際のツアーでは、時間をとることのできない部分にも時間を割きバスの中の説明でも使える話題等にも触れ、研修を進めることに努めました。

大阪歴史博物館を出発、前期、後期難波宮の存在に触れた後、最も美しい南面石垣を見て大手口バス降車場を案内後、大手門、櫓形での説明の例を学びました。太鼓櫓のところで碎石方法や、空堀・桜門・蛸石各所での説明後、元第4師団本部、旧博物館の耐震改装工事が完了しオープンした新施設「MIRAIZA」に入場。展示コーナー、1階施設を見学しました。

その後旧紀州御殿庭園跡より天守閣を臨み、天守の再建寄付、軍用施設としての大阪城、明治以降の大阪砲兵工廠と大阪大空襲についてもご紹介しました。天守入場後は山里丸、極楽橋、青屋門を抜けて大阪城ホールを横目に見ながら、アクアライナー乗り場で解散し研修終了となりました。その後レストラン群の新施設「Joe Terrasse」を自主研修されるグループもありました。

遠方よりお越し頂いた方々、熱心に質問されたり、ご自分の体験やガイドングのヒントをシェアしてくださった方々など、皆様ありがとうございました。この研修が少しでも今後ご自身のツアーのプラスアルファになれば幸いです。(吉崎圭子)

(講師・レポート:吉崎圭子 スタッフ:吉田英夫、山田展之)



GICSS新年懇親会 大阪・東京 (大阪 2018/1/21 東京 1/27)

大阪

今年も新大阪近郊の「KOKO CAFE」で開催しました。ランデル先生から最近の業界動向についてのお話、福井ミッキーさんによる乾杯のあと、自己紹介&近況報告。松岡先生から昨年の活動報告。特技披露はハーモニカ独奏、ポピュラー、ジャズと恒例ののど自慢の皆様のライブステージにて終了となりました。大阪城スポット研修の吉崎圭子講師も参加され、和やかな新年会でした。ご参加いただいた方、有難うございました。そして今年参加できなかった方、来年のご参加をお待ちしています。(吉田英夫)

(幹事:山田展之、幹事・レポート:吉田英夫)

東京

通訳ガイド業界大変化の年となる今年の関東新年懇親会は、観光庁、旅行会社からのゲスト3名をお迎えして満席の熱気に包まれました。

ランデル先生から今後の業界の動向についての説明、松岡先生からは映像による昨年度の研修報告があり、その後は自己紹介、喉の健康法、GICSSクイズ王大会、余興にはハワイアン、シャンソン、大道芸、イタリア楽曲、ジャズ等々で大変盛り上がりしました。

普段なかなかお会いできない方々、新しく会員になられた方々ともお話が弾み、私達の元気が日本の元気という気概の溢れる懇親会となりました。お揃いのダークスーツで気配りをいただいたスタッフ、みごとな司会の城戸さん、全体コーディネーター・ムードメーカー馬瀬さん、皆様に心から感謝致します。(田村聡子)

(幹事:馬瀬八栄子、城戸弘明 レポート:田村聡子)



研修名・日程・会場等	チェックポイント
インバウンド旅程管理研修（東京） 4月1日（日）10:00～16:50 9,720円 会場：きゅりあん（品川区立総合区民会館）講師：金子潤ほか	旅程管理の知識と実務スキル、基本の旅行業法や列車の減員証明の取り方、事故・病人の緊急の場合の対応方法などをベテラン講師が分かりやすく指導します。本研修は、旅程管理主任者資格取得に必要な「基礎研修」に充当されます。重要性が高まるこの資格、未取得の方はこの機会に取得されることをお奨めいたします。
日光バス研修 5月24日（木）7:45～18:30 18,144円／旅程管理研修会 20,304円 講師：ランデル洋子・松岡明子 旅程管理主任者資格講師：鈴木久子	東京からチャーターバスで日光を巡る、GICSS恒例の人気研修です。ベテラン講師が、車中はもちろんのこと、東照宮、中禅寺湖など重要スポットを日本語・英語でくまなく解説・モデルガイドングします。テキストを片手に一日たっぷり学ぶ研修です。本研修は、旅程管理主任者資格取得に必要な「実地研修」に充当されます。
専門性研修集中Week ■7月12日（木）富裕層対応セミナー 講師：Phillip R. Rosenfield ■7月13日（金）現場に必要なFirst Aidを学ぶ研修 講師：佐藤武諭毅 ■7月14日（土）異文化コミュニケーション 講師：ランデル洋子 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター	3日間連続の多彩な専門知識を効率よく学ぶ夏の恒例研修。本年は左記のラインアップです。いずれもガイドスキルに欠かせない実務・知識の数々を、この機会に受講ください。詳細は追って、メーリングリストにて発表します。お見逃しなく。
新人歓迎懇親会（東京・大阪） 【関東】7月28日（土）六義園近辺 予定 【関西】8月初旬《予定》会場未定	新人会員を歓迎する恒例の夏の懇親会。参加者同士の懇親のみでなく、やはり参加してよかったと思う、ミニ研修などが現在企画進行中です。新人の方は参加費引き優待があります。新人研修会での仲間との再会、既会員との交流のために、ぜひご参加ください。
ネイティブに学ぶ自然な英語 Ian's Workshop（大阪） 8月中旬《日程近日発表》 会場：大阪市内 講師：Ian Priestley	イギリス人講師による、昨年スタートした人気研修、今回は「大阪」にて開催します。テーマは「説明しにくい日本技術や酒つくりなどの分りにくいプロセスを、いかに平易な英語で語るか？」です。受講生には丁寧なフィードバックがあり、実力アップが即期待できる人気研修です。
GICSS検定（GICSS Guide Skill Proficiency Test） 第8回 富士・箱根編 24,840円／審査のみ 10,260円 勉強会：7月3日（火）、17日（火）、26日（木） 審査会：8月6日（月）、7日（火）	3回の勉強会では参加者が情報を持ちあい、共有し、知識を積み上げてゆきます。審査会では5段階のガイド技術レベルの評価を得られ、自身の現時点での実力を数値化できます。目標のAAAを目指して、半年に一度のチャンスを逃さずに、多くの皆様の参加をお待ちしております。
バス現場研修 岡山・直島・広島観光・必須スポットをガイドする研修（予定） 日程：12月《予定》 講師：GICSSベテラン講師	富裕層の間では、日本にいったら、直島！と言われるほど人気があり、モダンアートのメッカでもある直島の美術館群、家プロジェクトなどを巡ります。GICSSならではの専門性の高いアート紹介の技を学びます。また、周辺地域の岡山や広島にも足をのばして、必須の観光スポットもカバーしてしまう、贅沢な行程の研修。詳細は追ってメーリングリストにて発表予定です。ふるってご参加ください。
その他、C.C.チャレンジャーサークル、地域スポット研修（日本橋、谷根千、お台場、浜離宮、歌舞伎町、浅草、原宿、銀座等）など、今年の夏以降、充実のラインアップを随時お知らせします。ご期待ください。 開催場所・時間などの詳細は、今後のメーリングリスト、ホームページでご確認ください！	

Ian's Workshop 東京

(1/31, 2/21, 3/21)

ネイティブ講師に学ぶ自然な英語表現講座の第2シリーズとなりました Ian's Workshop、今回のテーマは「Story Telling」。

3時間のプログラムの前半は、Ian先生より聞き手にとってわかり易く活き活きと臨場感をもって引き込まれるようにするためのTipsが1つ1つ説明されました。ここで受講生は先んじて披露されたIan先生のプレゼンにこれらTipsが活用されていたこと気付かされました。

後半は2人1組の演習に続き受講者によるプレゼン、おとぎ話、怪談、神話や浅草寺の成り立ち、駅伝等々、幅広いトピックが展開されました。

第3シリーズも是非ご期待下さい。 (講師：Ian Priestley)

能面師に学ぶ能面の魅力 大阪 (3/10)

技術者を退職後、現代能面師の第一人者である堀安右衛門師に師事し面打ちに磨きをかけ、能面作りを広げる活動をされている鳥畑英之氏を講師にお迎えし能面の魅力について学びました。

左右でわずかに違う表情をしていること、目の大きさや顔の形で年齢を表していることなど、伺わなければ気付かない細かな点を講義頂きました。現代の能面師の仕事とは新制作よりも修理が主であるが、その時に先人の技の素晴らしさを感じるとのことでした。

限定の方のみ（くじ引き）でしたが実際に彫る体験や、面を付けた時の視界も実感できました。はかないものに「あはれ」を感じる日本人の美意識につながる能の世界への扉を開く研修となりました。

(講師：鳥畑英之 スタッフ：田村聡子、吉田英夫)

第7回 GICSS検定 勉強会・審査会 東京 (1/8・9)

3回の勉強会の後に審査会を行うGICSS検定、7回目となる今回は「日光」がテーマ。勉強会では多数のガイドング・スポットのほかバス車内のゲーム・クイズ、歌の実習も行いました。

GICSS検定の勉強会では、すべてのガイドングネタに触れ1つ1つの情報を拾い上げまとめていくチームワークが魅力、また審査会では複

数の審査員による総合的な評価が得られます。

次のテーマは「富士・箱根」です。日程は以下の通りです。

【第8回 GICSS検定 勉強会・審査会】
勉強会：7月3日（火）、17日（火）、26日（木）
審査会：8月6日（月）、7日（火）

＝編集後記＝

- 激変のガイド業界とはいっても、季節はめぐり、花は咲き、ガイドの仕事のトップシーズンです。日本中がが一番輝く時にガイドできる幸せを皆さんが満喫できますように。また、これからのデビューを目指す方々や諸事情で一時お休みをしている方々も、いずれ来る夢の実現を密やかにresoluteし、桜の下で乾杯！（ま）
- アップダウンの温度、花粉症、自然の驚異に振り回されますね～人類は。そちらに目を向ければ何でも些細なことに見えます。スポーツ界も森友も早く清浄値になって欲しいです。（よ）

◆GICSS研究会 賛助会員＆協力会社

株式会社 JTBグローバルマーケティング&トラベル
OEL英語ソリューションズ
東武トップツアーズ株式会社
株式会社 千代田テクノ
協同組合 京都ハンディクラフトセンター
近畿日本ツーリスト株式会社
株式会社日本旅行



NPO法人GICSS研究会 〒154-0011東京都世田谷区上馬5-20-15-1001 TEL：03-3706-9861〔代表〕
E-mail：adm@gicss.org URL：http://www.gicss.org